R7 負担金	労働者協同組合労協センター事業団（実施団体）多機能福祉施設こもれび × 学校教育課 3年目
行政提案型	事業名｜学びの下支えによる、子どもの意見表明支援に向けた新しい実践 ～子どもの視点に立った貧困・ケアラー支援、いじめ防止等への対話的アプローチ～（補助額 500,000 円）

【事業の目的】

・子どもの学びの場面に世代の近い大学院生等が加わり、対話的なアプローチをすることで、子どもは受け止められることにより日ごろの不安が和らぎ、存在感覚が根づき、声を発しやすくなる。最終的には子どもが意見表明できるようになることを目指す（根の力）。

・結果として、学校が子どもたちにとって安心安全な居場所になる（副産物）。

【事業の内容】 ※令和 6 年 10 月採択時点

①学校内居場所「ふらっとるーむ」の運営

こもれびや公益大生がスタッフとなり、週 2 回程度開所する予定。児童誰でも利用できる

②対話プログラム「RJ サークル」の実施

モデル校の 1・2 年生を対象に、年 2 回程度実施予定。

クラス全体の雰囲気が意見表明しやすい空間になることを目指す。

③学校・地域での「対話」への理解促進

講師を招いての対話ベースの事例研修会や地域向け対話プログラム講演会を開催予定。

【成果目標】

・「相互に対話を行えている児童生徒の割合（最終年）」について、サークル実施毎に簡易アンケートを行い、対話が行えているかの指標の伸びにより効果を検証していく。

KOMOREBI_HINATA

R7 負担金	RDDin 酒田西高実行委員会 × 地域福祉課 1 年目
団体提案型	事業名｜希少・難治性疾患と地域をつなぐプロジェクト(負担額 471,000 円)

【事業の目的】

・希少・難治性疾患(以下、RD)は、患者数の少ない「まれ」な病気で、治療法や治療薬がないことが多く、約 6,000 種類の疾患があると言われている。病気そのものへの認知度が低く、周囲の理解不足や誤解、偏見、適切な配慮が十分でないなどの課題がある。

・酒田市内でも RD 当事者の就労に適切な対応がなされている企業はまだ少なく、市民への RD の周知も十分とはいえない。市民一人ひとりが RD についての理解を深め、特性に応じた適切な配慮を学ぶ機会を提供し、企業においては障がい者雇用制度外での合理的配慮を学習する機会を提供する。

【事業の内容】 ※令和 7 年 4 月申請時点

①企業内 RD 環境セミナー開催

企業内での RD に対する適切な環境を学ぶ。

②企業内 RD 環境フォーラム開催

RDを入り口とし、ダイバーシティを踏まえた暮らしやすいまちを考える。

【成果目標】

・セミナー参加企業 10 社以上

・フォーラム参加市民 50 名以上

酒田西高校 HP 内
RDD in 酒田西高
実行委員会ページ